

・いつもの個別フォローでは、年間目標の話をする事が多かったのですが、今回は仕事の事を相談させてもらいました。

部下の仕事のやり方に不満はあるものの、それを伝えるのも言いにくい、それで気持ちが悪くなってしまっ…という話をしているうちに、「私って、駄々っ子みたいだわ！」と自分で自分に突っ込むターンが冒頭にありました。

聞いてくれている陽子さんは、ほとんど「うん、それで？」くらいの発言なのですが、私自身が部下の仕事の仕方を良く思っていないのに、部下には自分を良く思ってもらいたがっている、という矛盾を指摘してもらって、「あ、それならお互い様だよな」と気持ちの整理ができました。

じゃあ、どうやって業務を改善していくの？と質問をしてもらったのですが、気持ちの整理がついたら、思考が巡ってきて、「あ、これまで仕事がうまく回っていたのは、チームの中にムードメーカーがいてくれたからなんだ！」と気がついて、今の職場にそういう存在がないから、私は戸惑っているのかな？と気がつき、「若手で見込みがありそうな子にムードメーカーになってもらうように育てていけば、自分もチームも助かるし、本人にとっても今後の武器になるはずだ」と、すぐに明日からできることに思い至りました。

ということで、自分の持ち込んだ悩みは、最初の30分足らずで終了。

その時に言われたのが「自分一人で考えている悩みなんて、綿飴みたいなもんで、実態はほんのひとかけらのザラメなのに、攪拌されて膨らんで大きく見えてるだけ。」という名言。

「本人が問題だと思っていることよりも、もっと深くて根本的な問題が本当はあるのに、綿飴の問題を解決して満足している。考えなきゃいけないのは、そこじゃない。」とも言われました。

今回の私にしても、自分の気持ちひとつで解決する問題よりも、部下との人事評価面談など、もっと真剣に考えないといけない仕事上の問題がありました。

今の自分のスキルや業務把握で、他人の処遇に関わる評価をしなければいけないことは「仕事だからやるしかない！」で思考停止して、危機感は希薄でした。

そういった、重要度の認識がずれていることも、陽子さんとのセッションによって明らかになっていき、本当に自分が取り組むべき課題が見えてきて、自分が進む方向が見えてきました。

冒頭に、「悩んでいる風」だったのは、自分の課題が明確ではなく、何をどうしたらいいか自分の力で整理できなかったからだったのだと思います。セッションで、自分が何をやるべきなのかが明確になることで、元気が出てきたと思います。

今回も、ありがとうございました。

(M 50代女性 広島県)